


第 87 期

# 報告書

H22・04・01 ▶ H23・03・31

証券コード9671

株式会社 よみうりランド



よみうりランドキャラクター  
ランドドッグ

遊園地  
(ジュエルミネーション)

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈りいたします。

当社グループ第87期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長

関根達雄



## 営業の概況

01

### 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や新興国市場の需要拡大などにより一部で景気回復の兆しが見られたものの、依然として雇用情勢や所得環境が低迷していることに加え、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災による影響で非常に厳しい状況となっております。

当社グループの関連する業界におきましても、消費者の節約・低価格志向が続いている中、震災後には一時的に営業を休止する施設が相次ぎ、レジャー消費マインドも低下するなど、経営環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、全社一丸となって、積極的な事業展開を図り、収益の確保に努めました。

公営競技部門では、船橋競馬場におきまして、11月に地方競馬の祭典「JBC競走」が開催され、投票券総売上高は船橋競馬の一日の売上レコードを更新するなど活況を呈しました。ゴルフ部門では、千葉よみうりカントリークラブにおきまして、10月に東京よみうりカントリークラブの18番ホールを再現した「新18番ホール」をオープンし、お客様から好評を博しました。遊園地部門の遊園地では、11月から関東最大級となる100万球のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催し、多くのお客様にご来園いただきました。また、夏のプールWAIでは、様々なイベントを実施し集客に努めたことや猛暑など天候要因

も追い風となり、開設以来最高となる入場者を記録いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、震災の影響による減収があったものの、遊園地、プールWAⅠが好調だったことに加え、温浴施設「季乃彩」の通期稼働などもあり、152億5千8百万円（前期比4.9%増）、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより、19億7千8百万円（同3.9%減）、経常利益は21億1千5百万円（同0.1%減）、当期純利益は11億7千5百万円（同2.0%増）となりました。

## 対処すべき課題

今後のわが国経済は、東日本大震災の甚大な被害及びそれに端を発する原発事故や電力不足などの影響で生産活動が大幅に低下するなど当面厳しい状況が続くものと思われます。これに伴い、雇用情勢、所得環境などの回復も遅れ、個人消費も一層冷え込むことが予想されます。

当社グループの関連する業界におきましても、震災の影響によるレジャー消費の落ち込みや電力事情等の社会情勢に配慮した営業スタイルへの変更などで、経営環境は厳しい状況で推移するものと思われます。

このような状況の下、公営競技部門では、船橋オートレース場におきまして、平成23年度に44年ぶりとなる新人女性レーサーのデビューが予定されているほか、業界では4月より重勝式車券の発売が開始されたこともあり、これを機に関係団体とより一層連携してオートレース界の発展に寄与してまいります。

ゴルフ部門では、東京二場（東京よみうりカントリークラブ、よみうりゴルフ倶楽部）のゴルフ場におきまして、引き続き質の高いコースコンディション維持とサービス提供を図るとともに、外部営業を積極的に実施し、顧客獲得に努めてまいります。

遊園地部門では、夏のプールWAⅠ及び冬のイルミネーションにおきまして、趣向を凝らした様々なイベントを展開し顧客サービスに努めるとともに、全社をあげて集客活動に取り組んでまいります。また、お客様に安心して遊んでいただくために、遊戯機の安全管理をさらに徹底してまいります。

不動産事業におきましては、所有地の有効活用として、京王よみうりランド駅前に寄宿舎（寮）を建設中であり、平成24年4月から外部への賃貸を開始する予定です。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# セグメント別の概況

## 総合レジャー事業

### 公営競技部門

川崎競馬は、前期比1日減の63日開催されました。夏季の猛暑や雨天日の増加などが影響したことに加え、期待された重賞競走の「川崎記念」や「全日本2歳優駿」が低調な結果だったことなどにより、投票券総売上高は減少いたしました。

船橋競馬は、前期比5日減の49日開催されました。11月には船橋競馬60周年事業として、地方競馬の祭典「JBC競走」が開催されました。この開催に備え、スタンドやトイレ、ウィナーズサークル、パドックなどの施設整備をしたほか、関係団体と協力し近隣施設で開催告知イベントを実施するなど集客に努めた結果、「JBC競走」及び当日の投票券総売上高は、船橋競馬の1レース並びに一日の売上レコードを更新いたしました。これらの効果もあり、一日当たりの投票券総売上高は増加したものの、震災の影響による開催中止などにより、年度を通しての投票券総売上高は減少いたしました。なお、地震により、場内全域で液状化現象や亀裂が生じましたが、懸命の作業により復旧いたしました。

船橋オートレースは、前期比10日減の64日開催されました。秋に走路改修工事を実施するなど施設整備に努めました。走路は新工法による水はけ対策などが施され、選手から好評を得ました。しかしながら、震災の影響で「GIプレミアムカップ」が中止となったことなどにより、投票券総売上高は減少いたしました。

競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前期比14日減の342日の実施となりました。9月にはオートレース競走路を利用したイベント「ママチャリ4時間耐久レース」を開催いたしました。このイベントはメディアに取り上げられ、競輪のPRに貢献いたしました。また、12月にサテライト船橋開設2周年記念イベントなどを実施しリピーターの獲得に努めました。この結果、震災の影響で発売日が減ったにもかかわらず、投票券売上高は増加いたしました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、39億1千4百万円（前期比1.1%減）となりました。



▲走路改修後のレース（船橋オートレース場）

### ゴルフ部門

東京よみうりカントリークラブは、積極的な外部営業により多くのコンペを獲得するなど集客に努めました。また、新たに「夕涼みディナーコンサート」や「スイーツフェスタ」などのイベントを実施し、会員のクラブライフの充実を図りました。なお、12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」では、人気選手の賞金王争いなどにより、大会史上最多となる来場者で賑わいました。よみうりゴルフ倶楽部は、引き続き女子プロ参加のプロアマコンペなど、各回特色のある自主コンペ企画を実施し好評を得ました。また、外部営業も積極的に行い顧客獲得に努めました。なお、初の試みとして、遊園地のイベント「ジュエルミネーション」と連動して、クラブハウスレストランを期間限定で夜間営業し予想を超える数のお客様にご利用いただきました。しかしながら、両ゴルフ場ともに、積雪によるコースや震災の影響によりキャンセルが増加したことなどにより、入場者は減少いたしました。

静岡よみうりカントリークラブは、競技会の開催や誘致、早期予約による割引プランなどの料金施策により集客に努めましたが、夏の猛暑の影響などにより、入場者は減少いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、10月に東京よみうりカントリークラブの18番ホールを再現した「新18番ホール」がオープンし、多数のメディアで紹介され、話題となりました。また、前年度から実施している来場者へのスクラッチカード配布イベントが定着し、集客に寄与いたしました。しかしながら、震災の影響でキャンセルが増加したことなどにより、入場者は減少いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、29億3千3百万円（前期比4.3%減）となりました。



▲ゴルフ日本シリーズJTカップ2010  
（東京よみうりカントリークラブ・12月2～5日）

## 遊園地部門

遊園地部門の遊園地では、春のナイター営業「よるランド」など、夜の遊園地を有効活用いたしました。さらに、冬には世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のもと、世界初となる7色のジュエリーカラーのLEDを使用し、関東最大級となる100万球のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催いたしました。このイベントは多数のメディアで紹介され、お客様からも好評を博し、多くの来園者で賑わいました。その結果、震災後1週間営業を休止したものの、入園者は増加いたしました。

夏のプールWAIは、音楽・ダンス・放水を融合した「ダンスブラッシュ」など、新たなイベントを実施し集客に努めました。また、おもちゃのアヒルを用いたレース大会なども、昨年以上の盛り上がりを見せました。期間を通して猛暑と好天が続いたことも相まって、開設以来最高となる入場者数を記録いたしました。

温浴施設「丘の湯」は、遊園地の「ジュエルミネーション」と連携し集客に努めましたが、震災の影響などもあり、入場者は減少いたしました。温浴施設「季乃彩」は、朝風呂営業など様々な顧客サービスに努めた結果、震災の影響を受けたものの、入場者は順調に推移いたしました。

ゴルフガーデン（練習場）は、ティーアップマシンの更新など、来場者の利便性向上に努めましたが、夏の猛暑や震災の影響などにより入場者は減少いたしました。

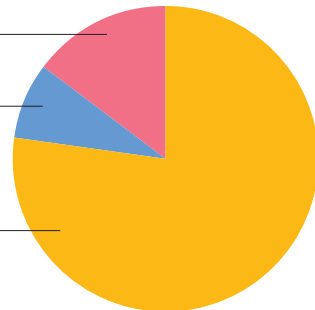
以上の結果、遊園地部門の売上高は、30億3千9百万円（前期比26.2%増）となりました。



▲ダンスブラッシュで盛り上がる様子（プールWAI）

## 販売部門

遊園地及びプールWAIが入場者増に伴い増収となったほか、温浴施設「季乃彩」の通期稼働などにより、販売部門の売上高は26億6千5百万円（前期比8.3%増）となりました。



### ● 総合レジャー事業

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、132億1千9百万円（前期比5.2%増）、営業利益は25億5千2百万円（同1.3%増）となりました。

売上高 **13,219** 百万円  
構成比 **77.3%**

### ● 不動産事業

不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、13億9千1百万円（前期比4.7%減）となり、営業利益は7億8千3百万円（同8.4%減）となりました。

売上高 **1,391** 百万円  
構成比 **8.1%**

### ● サポートサービス事業

サポートサービス事業の売上高は、ジャイアンツ球場ナイター照明設備工事や船橋競馬場「JBC競走」関連工事を受注したほか、外部ゴルフ場のコースメンテナンス業務を新規獲得したことなどにより、24億9千万円（前期比49.2%増）、営業利益は1億4千3百万円（同150.1%増）となりました。

売上高 **2,490** 百万円  
構成比 **14.6%**

# 財務諸表〔連結〕

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成23年3月31日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在	比較増減		当連結会計年度末 平成23年3月31日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在	比較増減
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>7,472</b>	<b>7,523</b>	△ 51	<b>流動負債</b>	<b>6,904</b>	<b>6,616</b>	<b>288</b>
現金及び預金	6,195	5,960	234	営業未払金	629	409	220
受取手形及び売掛金	747	965	△ 217	短期借入金	3,100	3,100	—
商 品	25	24	0	1年内返済予定の長期借入金	1,207	1,302	△ 95
販売用不動産	221	255	△ 33	未払法人税等	417	402	15
未成工事支出金	10	7	3	賞与引当金	119	120	△ 1
貯 蔵 品	12	11	1	災害損失引当金	103	—	103
繰延税金資産	177	188	△ 10	そ の 他	1,327	1,281	45
そ の 他	81	111	△ 29	<b>固定負債</b>	<b>28,650</b>	<b>30,234</b>	<b>△ 1,584</b>
貸倒引当金	△ 0	△ 0	0	長期借入金	3,285	4,493	△ 1,207
<b>固定資産</b>	<b>45,709</b>	<b>46,884</b>	<b>△ 1,174</b>	繰延税金負債	841	1,120	△ 279
<b>有形固定資産</b>	<b>37,681</b>	<b>38,169</b>	<b>△ 488</b>	退職給付引当金	579	579	△ 0
建物及び構築物	18,754	19,382	△ 627	役員退職慰労引当金	108	125	△ 17
機械装置及び運搬具	485	550	△ 65	資産除去債務	191	—	191
工具、器具及び備品	236	307	△ 71	長期預り金	23,543	23,807	△ 264
土 地	17,876	17,752	124	そ の 他	101	108	△ 6
リース資産	97	118	△ 20	<b>負債合計</b>	<b>35,555</b>	<b>36,850</b>	<b>△ 1,295</b>
建設仮勘定	231	58	172	<b>(純資産の部)</b>			
<b>無形固定資産</b>	<b>82</b>	<b>89</b>	<b>△ 6</b>	<b>株主資本</b>	<b>16,791</b>	<b>16,318</b>	<b>472</b>
そ の 他	82	89	△ 6	資 本 金	6,053	6,053	—
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,945</b>	<b>8,625</b>	<b>△ 679</b>	資本剰余金	4,730	4,730	△ 0
投資有価証券	7,163	7,823	△ 659	利益剰余金	7,620	6,844	775
繰延税金資産	583	542	41	自 己 株 式	△ 1,612	△ 1,309	△ 303
そ の 他	198	259	△ 60	その他の包括利益累計額	835	1,238	△ 402
<b>資産合計</b>	<b>53,181</b>	<b>54,408</b>	<b>△ 1,226</b>	その他有価証券評価差額金	835	1,238	△ 402
				<b>純資産合計</b>	<b>17,626</b>	<b>17,557</b>	<b>69</b>
				<b>負債及び純資産合計</b>	<b>53,181</b>	<b>54,408</b>	<b>△ 1,226</b>

# Consolidated Financial Statements

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	比較増減
売上高	15,258	14,546	712
売上原価	11,652	10,947	704
売上総利益	3,606	3,598	7
販売費及び一般管理費	1,627	1,540	86
営業利益	1,978	2,057	△ 79
営業外収益	238	161	76
受取利息	1	3	△ 1
受取配当金	173	114	59
保険返戻金	13	0	12
その他	49	43	6
営業外費用	101	102	△ 1
支払利息	99	101	△ 2
その他	1	0	1
経常利益	2,115	2,116	△ 1
特別利益	91	5	85
固定資産売却益	2	0	2
子会社清算益	—	5	△ 5
受取補償金	89	—	89
特別損失	347	210	137
固定資産除却損	140	199	△ 59
投資有価証券評価損	—	0	△ 0
災害による損失	119	10	109
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	87	—	87
税金等調整前当期純利益	1,859	1,912	△ 52
法人税、住民税及び事業税	733	704	28
法人税等調整額	△ 49	54	△ 104
少数株主損益調整前当期純利益	1,175	—	—
当期純利益	1,175	1,152	22

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,518	3,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,250	△ 2,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,028	1,238
現金及び現金同等物の増減額	239	1,995
現金及び現金同等物の期首残高	5,820	3,989
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 165
現金及び現金同等物の期末残高	6,060	5,820

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

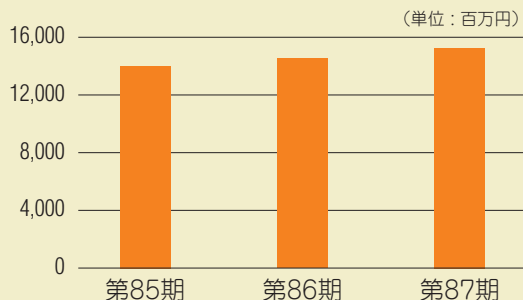
(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成22年3月31日残高	6,053	4,730	6,844	△ 1,309	16,318
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 399		△ 399
当期純利益			1,175		1,175
自己株式の取得				△ 303	△ 303
自己株式の処分		△ 0		0	0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	775	△ 303	472
平成23年3月31日残高	6,053	4,730	7,620	△ 1,612	16,791

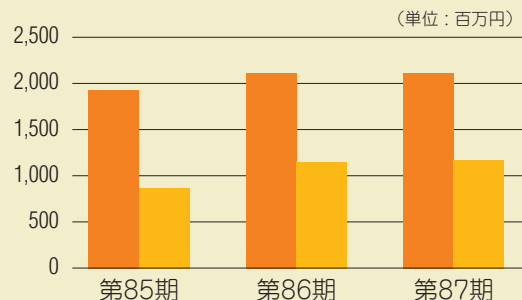
	その他の包括利益累計額			純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
平成22年3月31日残高		1,238	1,238	17,557
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 399
当期純利益				1,175
自己株式の取得				△ 303
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）	△ 402	△ 402	△ 402	△ 402
連結会計年度中の変動額合計	△ 402	△ 402	△ 402	69
平成23年3月31日残高	835	835	835	17,626

## 業績ハイライト[連結]

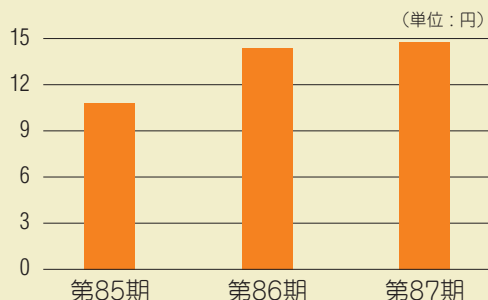
## ● 売上高



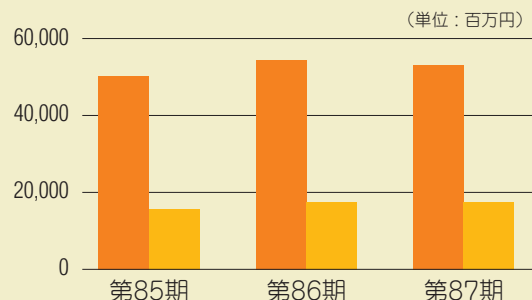
## ● 経常利益／当期純利益



## ● 1株当たり当期純利益



## ● 総資産／純資産



07

	第85期	第86期	第87期
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高 (百万円)	14,049	14,546	15,258
経常利益 (百万円)	1,926	2,116	2,115
当期純利益 (百万円)	870	1,152	1,175
1株当たり当期純利益 (円)	10.80	14.41	14.72
総資産 (百万円)	50,152	54,408	53,181
純資産 (百万円)	15,649	17,557	17,626



## トピックス

## ◆大盛況であったプールW A I

平成22年7月9日から9月12日まで営業したプールW A Iは、開設以来最高の入場者を記録いたしました。期間中は、「ダンスブラッシュ」やおもちゃのアヒルのレース大会のほか、夜間のピアガーデン、シンクロショーなど、数多くのイベントを実施し、好評を博しました。



▲夏のプールW A Iの様子



▲シンクロショー



▲平成23年度登場予定の「チョイわるアヒル」

世界的な照明デザイナー石井幹子プロデュース  
～100万球の宝石色の輝きと東京大夜景～  
よみうりランド・ジュエルミネーション

平成22年11月22日から平成23年2月14日の特定日でジュエルミネーションを開催いたしました。園内は賑わい、多数のメディアに取り上げられました。



▲ジュエリーロード（桜並木）



▲ジュエリーリング（観覧車）

## ◆千葉よみうりカントリークラブ新18番ホール完成

平成22年10月に東京よみうりカントリークラブの18番ホールを再現した「新18番ホール」がオープンし、多数のメディアで紹介され、話題となりました。



▲新18番ホール

## ◆地方競馬の祭典JBC競走が船橋競馬場で開催

平成22年11月3日に地方競馬の祭典JBC競走が船橋競馬場で開催されました。当日の投票券総売上高は船橋競馬1レース並びに一日の売上レコードを更新いたしました。



▲大盛況の船橋競馬場

## 株主優待

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	3月31日（期末）	9月30日（中間）
発行時期	6月	12月
有効期間	7～12月	1～6月

## ●招待内容

遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりもの・アシカショー券引換 1枚 園内で「のりもの3回、アシカショー1回」がセットになったクーポン券5枚とお引き換えいたします。	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚（10回分）	☆船橋オートレース場
★プールWAI入場 5枚（※期末発行分のみ）	

## ●発行基準

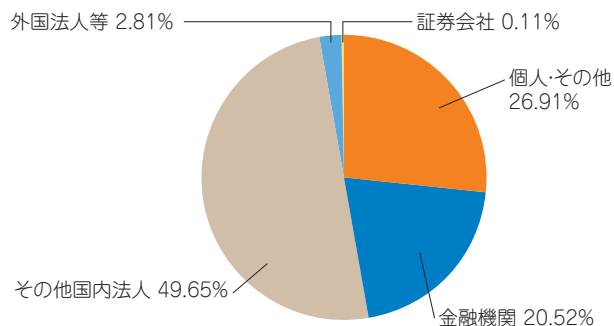
ご所有株数	遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1,000株以上	1冊	2枚
5,000株以上	2冊	3枚
10,000株以上	3冊	5枚
50,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

## 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

- 発行可能株式総数…………… 294,196,000株
- 発行済株式総数……………78,990,460株  
(自己株式4,531,564株を除く)
- 当期末株主数…………… 8,232名
- 所有者別株主比率



## ●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508	15.83
日本テレビ放送網株式会社	11,242	14.23
株式会社東京ドーム	5,821	7.36
中央三井信託銀行株式会社	3,973	5.02
大成建設株式会社	2,852	3.61
株式会社読売巨人軍	2,014	2.55
第一生命保険株式会社	2,000	2.53
京王電鉄株式会社	1,700	2.15
株式会社横浜銀行	1,631	2.06
オリンピア興業株式会社	1,278	1.61

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式4,531千株があります。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社の概況

## ●会社の概要 (平成23年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド  
(英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)  
本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1  
設立 昭和24年9月24日  
資本金 6,053,030,806円  
企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業  
公営競技部門  
競馬、オートレース及び競輪の  
競技場等の施設運営  
ゴルフ部門  
ゴルフ場の経営  
遊園地部門  
遊園地、ゴルフ練習場、温浴施  
設等の経営  
販売部門  
食堂、売店及びコンビニエンス  
ストアの経営  
不動産事業  
不動産の売買、賃貸  
サポートサービス事業  
建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

## ●当社の従業員の状況 (平成23年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
179名	△6名	40歳6ヶ月	13年10ヶ月

## ●役員 (平成23年6月22日現在)

代表取締役社長…………… 関 根 達 雄  
常務取締役…………… 小飯塚 稔  
常務取締役…………… 土方 功  
取締役最高顧問…………… 中保 章  
取締役…………… 谷 矢 哲 夫  
取締役…………… 小林 利 光  
取締役…………… 渡 邊 恒 雄  
取締役…………… 加藤 隼 奥  
監査役(常勤)…………… 田 中 敏 樹 久  
監査役…………… 濱 邦 正  
監査役…………… 細 川 知 治  
監査役…………… 児 玉 幸 治

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
 

定時株主総会の議決権	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 公告の方法 電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。  
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>  
ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## 株式会社 よみうりランド

この報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

- 総務部 電話 044-966-1131
- ホームページ <http://www.yomiuriland.co.jp/>